

令和7年5月29日(木)

50th
ANNIVERSARY



1年の家庭科は、栄養素の働きについての授業でした。小学校の家庭科では、炭水化物（糖質）、タンパク質、脂質の三大栄養素について学んでいましたが、中学校では、これにビタミンとミネラル（無機質）を加えた五大栄養素を学習します。本時は、五大栄養素について理解を深めるために、五大栄養素についてのクイズをつくり、お互い問題を出し合う活動を行いました。スクールタクトのホワイトボード機能を使うことで、自席を離れることなく、タブレットの画面で問題を共有することができてとても便利です。



2年生の国語の授業は、硬筆展に向けての練習でした。2年生は、毎年横書きの課題に取り組みます。義務教育9年間の中で、唯一の横書きです。お手本を一行ずつ折ってから硬筆用紙と並べて置き、文字の形や大きさに気を付けながら、集中してペンを走らせていました。



ちなみに、日本語は、縦書きでも横書きでも書き表すことができる言語ですが、これは世界を見回してもかなり特異な言語です。もともと日本語は縦書きでした。横書きは明治時代以降に行われることになった新しい書き方です。横書きの必要性が生まれたのは、英語やドイツ語の辞書をつくるときに、外国語の対訳を併記するレイアウトにあったとのことです。そして、日本語の活版印刷は、活字が正方形だったので、縦組みでも横組みでも可能だったことが幸いでした。

中国語や韓国語も、もともとは縦書きが主流でしたが、中国では公文書は横書きという法律があり、新聞も横書きです。韓国語は、ほとんど漢字が使われなくなり、横書きが一般的になりました。新聞紙に限っていうと、縦書きなのは世界中で日本だけのようです。

教育実習も大詰めとなり、今日は3名の実習生がそれぞれ研究授業を行いました。研究授業では、学習指導案を作る必要があり、そこには授業のねらい、教材の特性、指導計画、本時の授業展開等が詳細に記載されます。プロの教員であっても、研究授業の学習指導案を書くことは、そうそう簡単なことではありません。教育実習生にとっては、実習項目の中でも最難関の作業といえるでしょう。授業は、3名ともハードル走の授業を行いました。大学の先生もお越しになり、多くの先生方に見守られながら、緊張感の中、無事に授業を終えることができました。みなさん、お疲れさまでした。実習は、明日が最終日です。

